

58. アザシチジン皮下注射による注射部位反応に関する調査

研究の概要

アザシチジンは高リスク骨髄異形成症候群の患者において、移植を行わない症例では第一選択薬と位置づけられる薬剤であり、皮下注射や点滴静注で投与されています。皮下注射で投与する際の副作用として注射部位反応が高頻度で発現していますが、好発部位や発現の要因などに関する報告はありません。そこで今回、当院におけるアザシチジンを皮下注射で投与した際の注射部位反応や発現要因について調査・検討します。

研究の目的と方法

本研究では、2016年1月から2018年12月までにアザシチジンを皮下注射で導入された患者を対象としています。診療で得られた臨床データ（年齢、性別、身長、体重、アザシチジン投与量、注射部位、注射部位反応の有無、注射部位反応の種類等）を電子カルテから抽出します。

本研究の参加について

これにより患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他に研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

調査期間

実施期間：委員会承認日以後から2020年3月31日まで

研究期間：2016年1月1日から2018年3月31日まで

研究成果の発表

調査した患者様のデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者様のデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

研究代表者

薬剤部 藤田強記

当院における研究責任者

薬剤部 藤田強記

問い合わせ先

薬剤部 藤田強記

TEL: 096-353-6501